

ふくしま共創のまちづくり計画

土湯温泉町地区

作成：土湯温泉町地区地域の個性を生かした
まちづくり計画策定懇談会
事務局：土湯温泉町支所内
電話：(024) 595-2051

地域ビジョン

こけし育む 健康・湯の里 土湯温泉

[住んで居る、訪ね観る、誰もが憩う光るまち]

- ・人に優しい温かいまち
- ・ともに支え合う、安全安心なまち
- ・豊かな自然と環境に生きるまち
- ・お年寄りに安らぎ、青年に希望、子供に夢を育むまち
- ・SDGs※(持続可能な開発目標)を意識したまち

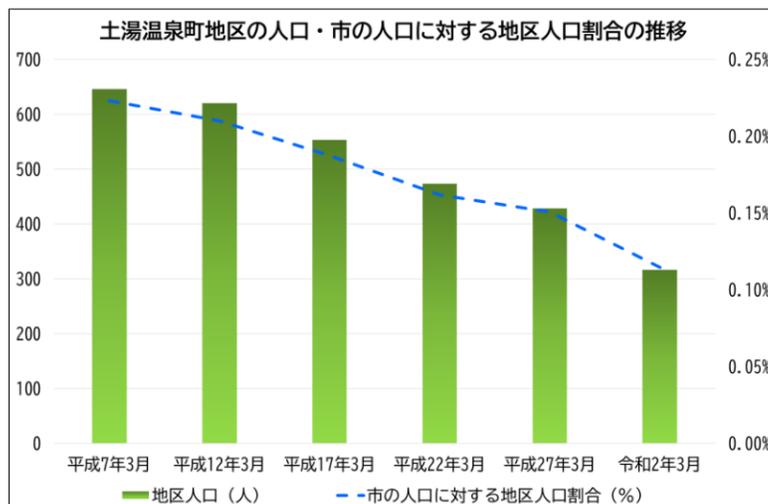
※SDGsとは、持続可能な開発のための17のグローバル目標と169のターゲット(達成基準)からなる、国連の開発目標



温泉街の全景

地域の個性

- 【自然環境】土湯温泉は、磐梯朝日国立公園の中にあつて、日本一の清流「荒川」の上流に位置し、「男沼、女沼、仁田沼、照南湖」など湖沼群に恵まれた自然豊かな地域です。
- 【公共交通】土湯温泉は、JR福島駅からバスで40分、東北自動車道福島西ICから西に車で20分の場所にあります。土湯温泉から山あいへ車で30分、土湯峠温泉郷があります。
- 【歴史・産業】古くは聖徳太子の時代にさかのぼり、旧会津街道の宿場町、山岳宗教の宿坊地として、同時に湯治温泉場として栄えてきました。太子信仰による聖徳太子堂や上杉藩の家老直江兼続にゆかりのある興徳寺、山の守り神が祀られている熊野神社があります。また伝統工芸として土湯伝統こけしがあります。



土湯温泉町地区の基礎データ (R2.9末現在)

項目	土湯温泉町地区	市全体
面積	57.74km ²	767.72km ²
人口(人)	304 (市全体の0.1%)	275,966
15歳未満	12 3.9%	31,659 11.5%
15~64歳	124 40.8%	161,424 58.5%
65歳以上	168 55.3%	82,883 30.0%
世帯数	169世帯	123,906世帯

地域の取り組みの実績

- ・花いっぱい運動の実施
- ・土湯ピカピカ大作戦(一斉清掃)の実施
- ・再生可能エネルギーによる発電事業の取り組み
東鴉川の砂防堰堤を利用した小水力発電や地熱を利用したバイナリー発電の実施
- ・地域支援事業の取り組み
土湯温泉足軽サービス、土湯温泉通学マイロードサービス
土湯温泉学光サービスの実施
- ・土湯温泉町地区都市再生整備計画事業の実施
公衆浴場「中之湯」、土湯温泉まちおこしセンター「湯楽座」、
土湯温泉観光交流センター「湯愛舞台」のオープン、街並み修景整備等
- ・空き店舗跡地活用「おららの酒BAR・醇醸蔵」、「おららのコミセ」のオープン



「湯楽座」と「湯愛舞台」がオープン

地域の強みとなる資源

- 土湯温泉は、荒川沿いに旅館が建ち並ぶ風情のある温泉街です。
- 街の中には「月のゆぶじえ」や「土ゆっこ」などの4つの足湯と、親水公園内を流れる東鴉川にかけられた「滝のつり橋」などの観光名所があります。
- また、東鴉川の砂防堰堤を利用した小水力発電や地熱を利用したバイナリー発電等、再生可能エネルギーの推進に地域をあげて取り組んでいます。
- 花の見どころは、仁田沼のミズバショウ、女沼のツツジ、堤ヶ平のヒメサユリ、照南湖のスイレンです。
- 特産品としては、手作りこんにやく、温泉たまごやプリン、温泉まんじゅうが有名です。新たな特産品として、バイナリー発電の温排水を活用し養殖された「つちゆ湯愛えび」を提供しています。
- 工芸品としては、日本三大こけしである「土湯伝統こけし」が有名です。
- 祭りは、1月の太子講、4月のこけし祭り、8月の盆踊り、10月の熊野神社例大祭などがあり、にぎわいをみせています。
- また、高地にある土湯峠温泉郷には、磐梯吾妻スカイラインやブナの原生林、幕滝遊歩道など、大自然に恵まれた多くの見どころがあります。

地域課題

- (1) 定住人口減少への対応
- (2) 少子・高齢化への対応
- (3) 交流人口及び関係人口拡大への対応
- (4) 空き家、空き店舗の解消と活用
- (5) 災害に強いまちづくり
- (6) 温泉観光地としての活性化
- (7) 国立公園としての環境と景観の保全

重点的な取り組み

I 地域コミュニティ

【方針1】 住み慣れた地域で心豊かできれいなまちづくりを進めます。

- (継続) きれいなまちづくりのため「花いっぱい運動」や「土湯ピカピカ作戦(一斉清掃)」を実施します。
- (継続) 地域の美化を推進するため、ポイ捨て防止の呼びかけや不法投棄の防止啓発に努めます。
- (新規) 定住人口の増加を目指して移住者向け市営住宅(土湯団地)への入居促進をします。
- (新規) まちの中心的道路である主要地方道土湯温泉線の改良工事の促進をします。
- (新規) 「旧サンスカイつちゆ」、「旧土湯小学校」の跡地活用の検討をします。

II 安全・安心

【方針1】 安全と安心を実感できる地域づくりを推進します。

- (継続) 高齢者宅を中心とした防犯パトロール、防火診断、交通安全運動を実施します。
- (継続) 地域の防災力の向上を目的とした地域防災訓練を実施します。
- (継続) 自然災害による被害からの生活道路の保全など安心して暮らせる生活環境づくりを推進します。
- (新規) 指定避難所である「中之湯」に加え、新たな地域の避難所を検討します。

III 歴史・文化

【方針1】 地区の文化財や土湯伝統こけしを保存活用します。

- (継続) 太子信仰による聖徳太子堂や上杉藩の家老直江兼続にゆかりのある興徳寺、山の守り神が祀られている熊野神社を保存活用します。
- (継続) 地域の祭りとして、1月の太子講、4月のこけし祭り、8月の盆踊り、10月の熊野神社例大祭を実施して歴史と文化を守ります。
- (継続) 土湯伝統こけしと工人の技術を守り、後継者育成に努めます。
- (継続) 土湯伝統こけしや、土湯で発見されたパレオパラドキシアの化石をモチーフに、土湯温泉のキャラクターとして活用します。
土湯伝統こけしは、「きぼっこちゃん」、パレオパラドキシアの化石は「ゆパッチー」という愛称で土湯温泉のキャラクターとして活用されています。



【きぼっこちゃん】



【ゆパッチー】

IV 健康増進・福祉

【方針1】 生涯にわたって健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

- (継続) 健康に関する出前講座として土湯健康教室を開催します。
- (継続) 一人暮らし高齢者等支援事業などを実施して安否確認や困りごと相談の実施をします。
- (継続) 安心して生み育てるために親と子の健康づくり等の環境整備に取り組みます。
- (継続) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境整備に取り組みます。
- (継続) 住民、民生児童委員、地域包括支援センター等が連携を強化し、地域のネットワークづくりに努めます。
- (新規) 健都ふくしま創造事業を地域に推進し、健診の受診者数の増加を図ります。

V 魅力ある温泉観光

【方針1】 温泉や伝統こけし等を活用した温泉観光地の活性化に努めます。

- (継続) 公衆浴場「中之湯」、土湯温泉まちおこしセンター「湯楽座」、土湯温泉観光交流センター「湯愛舞台」により賑わいを図ります。
- (継続) 東鴉川の砂防堰堤を利用した小水力発電や地熱を利用したバイナリー発電等、再生可能エネルギーを推進します。
- (継続) 土湯伝統こけし工人、旅館、商店等の後継者育成に努めます。
- (継続) 健康づくりに視点を置いた国民保養温泉地を充実します。
- (新規) 空き店舗跡地活用「おららの酒BAR・醇醸蔵」、「おららのコミセ」を拠点とした新たなまちの賑わい創出に努めます。
- (新規) 高齢者の移動手段の確保や観光客の周遊に資する新たな交通手段「グリーンスローモビリティ」について検討します。



公衆浴場 中之湯

VI 豊かな自然

【方針1】 国立公園の美しい自然環境を保全し、景観美を大切にします。

- (継続) 磐梯朝日国立公園の中にあつて、日本一の清流「荒川」の上流に位置し、「男沼、女沼、仁田沼、照南湖」など湖沼群に恵まれた豊かな自然環境を守り育てます。
- (継続) 景観保全に努めつつ、訪れる観光客等が安全で快適な利用を進めるため、遊歩道等の整備活用を推進します。